

凡事徹底

神守中学校

平成30年度 第1学年 学年通信

No. 14

平成30年12月3日発行

日本の伝統を感じる体験

11月20日(火)に和楽器体験を行いました。「大鼓」、「小鼓」、「笛」、「太鼓」、「謡い」、「舞い」の6つの体験をグループに分かれて、それぞれのプロとして活躍している講師の先生から直接指導を受けました。体験では、日頃なじみのない音楽や大変貴重な和楽器ということもあり、最初は少し戸惑った様子が見受けられました。しかし、時間が経つにつれ、それぞれの生徒が和楽器の演奏について楽しんでいる姿や真剣に取り組む姿が見られるようになりました。この機会に少しでも和楽器に興味をもってもらいたいと思います。

普段使うことのできない楽器や舞いや謡いなどを体験させていただいて、それぞれ難しく、なかなか大変だと思いました。また、室町時代から続いているので、これを次の世代にも伝えたいなと思いました。自分でも能を見に行ってみようかなと思いました。(A組男子)

伝統芸能に使われる楽器はとても独特な音色を聞かせてくれました。そして、何より感じたのは、教えて下さった先生方がとても楽器を大切にしていたことです。僕達よりも先生の方が真剣に楽器を扱っていました。それほど素晴らしい和楽器が今後なくなってしまうなと思いました。(B組男子)

それぞれの楽器の音を出すのは、難しかったです。僕は太鼓を習っていますが、触れたことのない楽器に触れられて良い経験ができました。古くから伝わるものをいまだに現代の人や次の世代の人達に伝えようとするのはすごいと思いました。大鼓は手が痛かったです。(C組男子)

見たことのない楽器がたくさんあり、とてもびっくりしました。最初は全然音が鳴りませんでした。先生に教えてもらうとできるようになりとても嬉しかったです。掛け声や笛は、うまくできませんでした。先生達の合奏はどの和楽器もきれいな音が出ていて、うまいなと感じました。(D組女子)

全体的に楽器が難しかったです。普段よく見る楽器とは違った良さがあると思いました。太鼓は、学校にあるしめ太鼓の方が、音が高かったです。小鼓を体験して、前で発表できてすごく良い経験になりました。もっと日本の伝統に触れてみたいと思いました。(E組女子)

